

# グループ 訪 問

## 建設業異業種に挑戦



— ぶどう栽培に夢を託して —

成熟社会とはいえ、建設業は公の仕事は削減の途、市場原理の競争社会の中で、味わったことのない熾烈な闘いをしている。

いま、宇津戸地区の建設業者がワイナリー用のおぶどう栽培に取組み、このほど、植付を完了、まったく未知の分野に挑戦、この難関を切り抜けようと講習会、研修会に従業員を参加させ活力を戻そうと頑張っている企業がある。

清竹産業の清竹政社長にインタビュー『バブル期の全盛期には受注営業はやらなくても仕事はあった、しかし今は公の仕事は大幅ダウン。これでは端境期間が長くなるばかり、生き残り策を模索している時、役場からぶどう栽培の話、同地区で建設業を営む百谷建設さんも兼ねてから考えていた様子、それに基づく魅力を感じていた金田満真さんに加え、早速勉強、まず10aの栽培から互いに手掛けてみようと言う事になりました。



植えつけ完了した、ぶどう畑

た。建設の未来は不透明とはいえ、いまずぐ全てを企業転換する事は不安でたまらん、まず実践し効果度を見きわめながら増やしてゆきたい。できれば将来一本化で異業種転換を夢見るが今は大きな夢ですよ。』と話される。ぶどう、建設いずれの負の不安も今は払拭しきれず挑戦。活力を呼び込もうとする積極的戦略に熱いエールを送りながら国道が地域内を縦断するこの宇津戸地域にぶどう団地誕生のその「源」となる動きになってくられる事を祈りながら取材を終えました。

### 広報委員会

議会だより

広報コンクールで 佳作賞受賞

世羅町議会広報誌は、2月22日第26回広島県議会広報コンクールにおいて佳作賞を受賞写真コンクールにおいても同時に佳作賞を受けました。合併後今回で6回目の発行となりました。未熟ながらも少しでも皆さんに喜んでいただけるものになければの思いで編集に取り組んでいます。今回



の思いもかけない受賞で又一層の闘志をいただきました。限られた紙面の中で今後も皆さんに愛される広報誌をめざして頑張つてゆきたいと思えます。

### 編集後記

春の息吹が感じられる、今日この頃ですが読者の皆様には益々ご清栄のことと拝察いたします。

さて、合併して1年5ヶ月余りがすぎました。手探りで住んでよかった町をめざしひたすらに取り組んできたが振り返ると・・・疑問です。

H18年度予算も前年度予算とほぼ同額ではあるが、充実と言えるものでなく、「無い袖は振れない」のごとく住民の負担はふえるばかり「ほんとにこのままでいいのか」と自分に問う。皆が満足できるサービスを提供することは難しいが、議会・行政両輪が同じルールに乗り議論を重ねつつ前進しなく



てはならない、新年度にあたり山積みされた問題が沢山ありますが議員一丸となって取組みます。忌憚の無いご意見をくだされば幸いです。

(松本)

議会広報調査 特別委員会

- ・委員長／小川信晃
- ・副委員長／仙光保喜
- ・委員／松本秀治・末盛守 田坂進・松浦敬潤



この広報は、環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は6月です

無線放送でお知らせします。